



八千代橋が開通

真名川に架かる八千代橋（蕨生～御給間）の開通式が、7月29日午前10時から現地の蕨生側で行われました。式典には県知事代理や川崎市長をはじめ地元関係者ら約100人が出席しました。

神事に続いて知事代理・市長ら5人がテープカット。その後、中島甚太郎さん（五条方、73歳）と広瀬一男さん（蕨生78歳）の2組の3代夫婦を先頭に、関係者は喜びをかみしめながら渡り初め。これには、トラクター3台も加わりました。

橋の全長は180.7㍎で、7㍎の車道と1.5㍎の歩道が設けられています。総工事費は約3億8,000万円です。

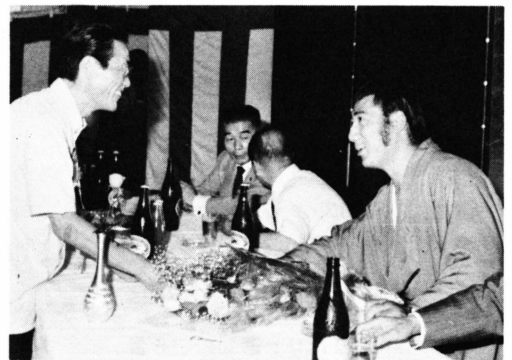
春日2丁目東区

町内だより100号に

春日2丁目東区（石田健蔵区長、180戸）では、49年4月から毎月町内だよりを発行していますが、このほど記念すべき100号になりました。

ワラ半紙大の用紙の両面に、町内の出来事や行事のお知らせ、出産や結婚にいたるまで、わかりやすくまとめられています。

100号には役員さんたちの投票による、区内のこれまでの10大ニュースなどが紹介されています。石田区長さんは「編集委員さんを中心に、みんなに親しまれる機関紙づくりを続けたい」と話しています。



ガンバレ大徹関

大相撲名古屋場所のみごとに勝ち越した大徹関（25歳）を祝い励ます会が、7月22日市農協会館で開かれました。

会場には郷土の力士を一目見ようと、後援会の会員や市民ら約500人が詰め駆けました。

参加者の温かい激励にこたえて大徹関は「みなさんの期待に沿えるよう、今後とも一生懸命頑張ります」と、力強く決意を述べました。

大徹関は46年に上庄中学校を卒業後、角界入り。先月の名古屋場所で2年ぶりに十両に返り咲きました。



春日2西区婦人会

ごみの実態を調査

市内で積極的にごみ問題に取り組んでいる春日2丁目西区婦人は、ごみの実態調査をし、このほどその結果をまとめました。それによりますと、各家庭から1日に出されるごみの量はおよそ1.2㍻で、そのうち8割近くが燃えるごみであり、さらにその6割が台所の生ごみであることがわかりました。



8割が燃えるごみ

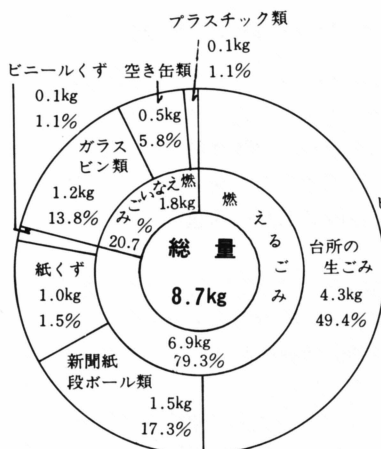
この調査は区内の30戸を対象にして、1週間にどういうごみがどれだけ出されるのかを把握するために行われました。

調査対象となった延べ人数は116人で、1戸当たり平均3.8人の家族構成になっています。

30戸から出された1週間のごみの総量は262.7㍻になっています。

内訳を見ますと、最も多いのが台所の生ごみで128.9㍻、次いで新聞紙・段ボール類の45.2㍻、ガラス・ビン類の34.7㍻、紙くず類の29.1㍻

表1 1戸当たり1週間のごみ量



空き缶類の15.6㍻、ビニール類の4.7㍻、プラスチック類の4.5㍻となっています。

これを1戸当たりの1週間平均にしたのが表1です。

台所の生ごみが4.3㍻、新聞紙・段ボール類1.5㍻、ガラス・ビン類1.2㍻などとなっています。

燃えるごみと燃えないごみに分けると、前者が6.9㍻、後者が1.8㍻になります。

さらに、1戸当たりの1日平均のごみの量を示したのが表2です。

台所の生ごみ614㍻、新聞紙・段ボール215㍻をはじめ全部で1,251㍻になり、このうち8割近くの990㍻が燃えるごみになっています。

また、おかずなどを入れて売っているスチロール製の皿（トレイ）は1週間の総量が528個で、1戸当たり1日2.5個になっています。

表2 1戸当たりの1日のごみ量

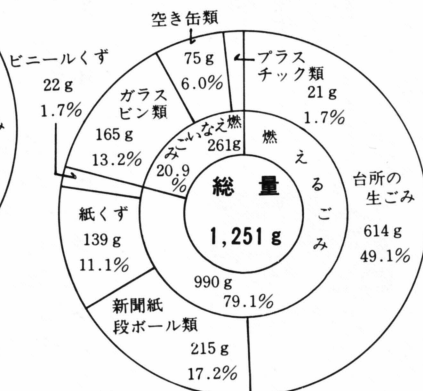
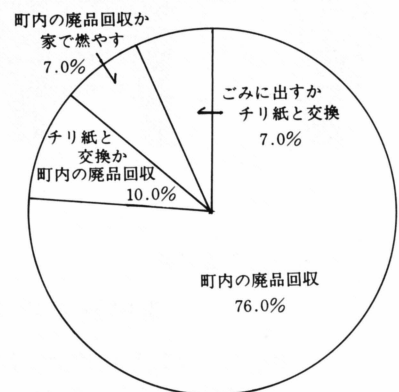


表3 新聞紙類の始末の仕方



3/4以上は再利用に

ごみの始末を見えますと新聞や段ボール類については表3のとおり町内などの廃品回収が76%で最も多く、次いでチリ紙交換や町内の回収が10%、町内の回収か家で燃やすが7%、ごみに出したりチリ紙と交換が7%になっています。

ビン類は店で引き取ってもらえないビンだけごみに出すが76%で最も多く、町内などの廃品回収に出すが17%、全部ごみに出すが7%となっています。

これからも分かるように4分の3以上は不用意にごみとして出さず、資源再利用に役立てられています。

同婦人会では今後、台所の生ごみや空き缶類・ガラス類の再利用にも取り組むことにしています。



保健センターから

市保健センターでは次のように「母と子の料理教室」と「糖尿病患者のつどい」を開きます。参加ご希望の方はセンター（5-7333）へ申し込んでください。

＜母と子の料理教室＞

＜日時＞ 8月20日（金）午前9時30分～12時
 ＜場所＞ 保健センター
 ＜内容＞ 母と子で楽しく一緒に作れる簡単な料理

＜糖尿病患者のつどい＞

＜日時＞ 8月27日（金）午後1時30分～3時
 ＜場所＞ 保健センター
 ＜講師＞ 尾崎病院長
 ＜内容＞ 糖尿病とはどんな病気なのかを症状・原因・合併症等の面から考える

鉄道事故をなくそう

国鉄では踏切事故や線路内での事故をなくするため、次のことを呼び掛けています。

尊い人命を守り悲惨な事故をなく
 —スマイル—

「夏バテ防止法」
 うまいモノ食べて
 寝てること
 —ノンキ亭主

上半期の火災統計

損害額は4,900万円

大野地区消防本部はこのほど、今年上半期（1～6月）の火災・救急概況をまとめました。

これによりますと、火災は5件で前年より9件減っており、過去10年間の最低を記録しました。

しかし、当市が2件と大きく減少したのに比べ、和泉村は3件とこれまでで最も多くなっています。

損害額は4,876万8,000円で、前年より1,752万4,000円増えており、過去10年間の平均よりも、3,240万8,000円増えています。これは住宅などの火災が3件を占めている上、全焼がほとんどであったためです。

建物の焼損面積は1,412平方

で前年より419平方、10年間平均より720平方増えています。

救急出動は256件

救急では出動件数256件、搬送人員230人となっており、前年より6件、16人減少しました。

1日当たりでは1.4回出動したことになります。

出動の内訳は急病103件、交通事故49件、転院搬送44件、一般負傷40件の順になっており、前年とはほぼ同じです。

年齢別では61～70歳が38人（16.5%）とトップ。次いで0～10歳が36人（15.7%）となっています。

すため、必ず守ってください。

- 踏切を渡るときは必ず一時停止し、左右をよく確かめる。
- 警報機が鳴っている間は踏切内へは絶対に入らない。
- 線路内に入ったり、近くで遊んだりしない。
- 線路に石や物を置かない。
- 列車に向かって物を投げない。
- 踏切の非常ボタンや機械類に触れたり、いたずらをしたりしない。

○大学奨学生

＜応募資格＞ 交通遺児または、交通事故による重い後遺症者の子弟で、学資に困っている者。成績優秀者

＜奨学金＞ 月額3～4万円

＜返済＞ 20年間割賦返済・無利子

＜採用方法＞ 面接と簡単な筆記試験

＜申込方法＞ 出願書類は大学・高校にある

住宅金融公庫の融資

○住宅建設資金

＜受付期間＞ 8月31日（火）まで

＜選定方法＞ 受付日順で無抽選

＜融資限度額＞ 木造480万円

＜利率＞ 年5.5%

＜返済期間＞ 25年以内

○住宅改良資金

＜受付期間＞ 58年2月28日まで

＜融資限度額＞ 300万円

＜利率＞ 年6.5%

＜返済期間＞ 10年以内

いずれも詳しいことは、公庫業務取扱店と表示のある最寄りの金融機関へどうぞ。

奨学生を募集

財団法人・交通遺児育英会では奨学生を次のとおり募集しています。

○高校奨学生

＜応募資格＞ 保護者が道路上の交通事故で死亡したり、重い後遺障害で働けないために学資に困っている高校生。成績不問

＜奨学金＞ 月額2万円（国・公立）2万5,000円（私立）

＜返済＞ 20年間割賦返済・無利子

＜採用方法＞ 書類審査だけ

＜申込方法＞ 出願書類は学校にある

市民カレンダー

8月25日～9月9日

25 (水)	結婚相談	10.00～15.00	有終会館	行政相談	13.00～15.00	下庄公民館
26 (木)	心配ごと相談 成人病検診	9.00～12.00 9.30～15.00	市役所 保健センター	婦人ガン検診	13.30～14.00	富田公民館
27 (金)	糖尿病患者の つどい	13.30～15.00	保健センター			
28 (土)	星空を見る会	19.00～21.00	スカイモール	手づくり人形劇講習会 〈日時〉 第1回、8月30日(月) 午後6時 〈場所〉 市教育委員会(庁舎分室) 〈申し込み〉 8月21日までに市教委 社会教育課(5-7350)へ 〈講師〉 伊藤一視氏		
29 (日)	県民大学教養 講座	14.00～16.00	市民会館			
30 (月)						
31 (火)	成人病検診	9.30～11.00	保健センター			
1 (水)	二百十日 防災の日	胃検診 結婚相談	9.00～11.00 10.00～15.00	市民会館 有終会館	婦人ガン検診 成人病検診	13.30～14.00 13.30～15.00 下庄公民館 保健センター
2 (木)		心配ごと相談 婦人ガン検診	9.00～12.00 13.30～14.00	市役所 稲山織物中保工場	胃検診 成人病検診	9.00～11.00 9.30～15.00 下庄公民館 保健センター
3 (金)	満 月	成人病検診 婦人ガン検診	9.30～11.00 13.30～14.00	保健センター 保健センター	献 血	10.00～15.00 東立通信
4 (土)		行政相談	13.00～16.00	有終会館	身障者の運転技術講習 自動車運転免許をとりたい肢体の 不自由な方を対象にした運転技術取 得講習会と、既に免許のある障害者 の限定解除技能講習会が開かれます。 期間は9月1日～10月31日で、会 場は大野自動車学校です。 受講希望者は8月31日(火)まで に市福祉事務所(6-1111内線394) へ申し込んでください。	
5 (日)						
6 (月)		成人病検診 成人病検診 成人病検診	10.30～11.00 13.30～14.00 15.00～15.30	上打波・岡宅 下打波集会場 市農協勝原出張所		
7 (火)		成人病検診 経営相談	9.30～11.00 13.00～16.00	保健センター 商工会議所		
8 (水)	白 霧	結婚相談 成人病検診	10.00～15.00 13.30～15.00	有終会館 保健センター		
9 (木)		心配ごと相談 成人病検診	9.00～12.00 9.30～15.00	市役所 市民会館		

安全運転にご協力を

市婦人会連絡協議会と市交通安全母の会(いずれも永田房子会長)は8月2・3日の両日、国道157号線の中津川地籍と、158号線西部バイパスの右近次郎地籍で、交通安全茶屋を開きました。

「過労運転に気をつけてください」「安全運転をお願いします」と、ドライバに呼び掛けるとともに、最近大きな問題になっている空き缶の「ポイ捨て、防止のために、ゴミ袋を渡しました。



発行 福井県大野市 編集 秘書広報課(電話 ⑥1111)

印刷 (株)松浦印刷